

僕は自分のポケットにいつも、この詩を入れて歩いているというか、詩そのものが私と言うか、そんな感じですが。これを、歌にしようと思いつているんです。

若い頃は、三井物産の中国室長で、サミュエル・ウルマンの youth という詩を僕にくれた人がいまして、この詩が好きでした。この詩は、電力界の偉い人で、松永安左衛門さんという人などが、座右の銘にしたとかで、今ではもうすっかり有名になってしまっていますし、私としては、あまりおもしろくなくなってしまいましたので、内容は申し上げませんが、ま、そういう本を読みながら、青春時代の心の糧(かて)にしてみました。

みなさんもお存知の白鳥先生には、高校1年から3年までずっとお世話になりましたが、先日偶然お会いしましてお話ししました。「君はー」と言いますので、「は？」という感じで話が始まったんですが、「文学についてどう思うかね」と言いますから、「高校1年の時からですが、先生の話はさっぱりわかりませんでした。でも、ようやく40半ばで、少しわかるようになりました」というような話から、すっかりウマがあつて、

先生と一緒に飲んだんですけど……。

もう多分、クラシックの歌い手としては、あと長くても4、5年であらうかと思っています。では、どうやって生きていくかということは、また、さっきの詩ではありませんが、しつこく、粘り強く何か考えて、お芝居やテレビ、まあ、テレビに出て有名になろうという気など毛頭ありませんが、お金になるんだったら何でも首を突っ込んで……。もともと、スケジュールが真っ黒にならなければ、気が済まないという性分です。これからも目いっぱい頑張って、演じて、そして考える、そんな生き方をしてみたいと思っています。

時期が時期でもあります。口にするのははばかりられる点もありますし、天皇陛下のご快癒を心からお祈りする気持ちは、もちろんみなさんと同じですが、昭和がこんなに偉大であったということ、次の世代に残せる仕事、という意味で、友人たちと、昭和にあつた音楽をつづりながら、「昭和の鎮魂歌」という大作に取り組んでみようかと考えているところです。そして、それが私の最後の仕事かも知れないと思っています。どうもありがとうございます。

## 能代高校東京同窓会

### 収支決算報告書

自昭和62年9月1日～至63年8月31日

収 入		支 出	
前期繰越分	705,400	総会会場費支払	684,360
寄付金	338,000	総会諸経費	326,000
総会会費	620,000	新聞広告代	25,000
普通預金利息	1,194	同窓会寄付	30,000
名簿売上	10,000	事務経費	13,200
名簿広告料	103,000	郵送料	122,480
恩師招待寄金	111,000	次期繰越金	687,554
合 計	1,888,594	合 計	1,888,594

上記の通り相違なき事を報告申し上げます。

昭和63年9月25日

会計監査幹事 八 柳 昭 義



懇親会

参議院議員 佐々木満氏

旧制15期



私、旧制15期でございますが、今受付で私の名前が見あたりませんが、今

実は、すっかり新制15期を探していたわけです。「どうも格好からして新制ではないだろう」ということでしたが、その通りでございます。早くも一恥掻いて参ったところで、それぞれみなさん、いろいろな分野でご活躍でございます、ご同慶にたえません。何も申し上げることはございませんが、先頃、テレビでオリンピックを見ておまして、本当に日本の選手が弱いということで情けない思いをいたしました。その中で、秋田県出身の選手は大変活躍して下さったわけですが、全般的に

は非常に弱い。まあ、かつて「鬼に金棒、小野に鉄棒」と言われた、あの小野喬さんとか、清子さんなどが見せてくれたような活躍をする選手は、もう出ないのかと非常に情けなく思ったわけでありまして。参加することに意義があるというのは、弱者の論理でありまして、スポーツ特に競技スポーツは勝たなければならぬ。負けたら何にもならない。私は何も選挙のことを言っているのではないんですよ。(爆笑)

スポーツのことを申し上げているわけですが、やっぱり勝たなければならぬのであります。

先だって、秋田市で同窓会がありました。野球部の監督さんと部長さんに特に来ていただいて、勝たなければいけない、参加することに意義はないんだ、ということも申し上げたんですが、来年の夏は何としまして勝ちたいと、監督さんも部長先生も決意を述べておられました。みなさん、期待していただいてよろしいかと思えます。

何はともあれ、今日は母校の発展を祈って、幸いみなさん体力はたっぷりあるわけですから、今夜は、力の限り杯をあげようではありませんか。

